

編集後記

一月末の大雪のさなか、「金沢では平年の9倍の積雪」とニュースで報じられているのを耳にして、そこまで降っていないだろうと思った金沢育ちの私。1882(明治15)年から2026(令和8)年現在までの金沢の最大積雪深を気象庁サイトで調べてみました。

過去の最大積雪深は181cmで1963(昭和38)年、通称サンパチ豪雪の年でした。鉄道網が完全にマヒして物流も途絶え、陸の孤島となった金沢では「陸がダメなら海がある」とその後に金沢港の整備計画が一気に進展したそうです。

最大積雪深が100cmを超えたのは、明治15年から令和8年までの145年間の中で13回しかありませんが、今年の最大積雪深64cmは順位でいえば43位、3〜4年に一回程度の積雪深ともいえそうです。「平年の9倍の積雪」との表現が何を指しているのか、調べた範囲ではよくわからなかったのですが、短時間(3時間, 6時間)に降った雪の量としては確かに記録的な降雪だったようです。

以前、サンパチ豪雪も経験されておられる先輩研究者に「金沢では冬の野外調査は無理だけど、夏に集めたデータの分析と論文執筆が研究室に籠ってじっくりできるよ」と冬の金沢の過ごし方を指南いただいたことがあります。

第19巻2号では、大雪の金沢で執筆された、こども学科3報、スポーツ学科3報、教養教育部1報の報告が掲載されています。どうぞご高覧ご批評くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026年3月吉日

編集委員長

永坂正夫

《投稿された論文等に関する著作権は、基本的に人間科学部会に帰属します》
「金沢星稜大学学会 会則と規程等」については、下記のWEBサイトをご覧ください。

<https://www.seiryu-u.ac.jp/u/education/gakkai/research02.html>